

## 第5節 光構内の立会調査

### 教育学部附属光小学校創立記念事業に伴う立会調査

調査地区 教育学部附属光小学校構内

調査期間 昭和61年10月20日

調査方法 工事施工時における立会調査

調査面積 約2.5㎡

調査結果 工事は、ブロンズ像建立に伴う台座設置のため、現地表から50cmまで掘削するものである。その掘削深度内は構内造成時の埋め土で、埋蔵文化財に直接の影響はなかったが、掘削基底面で須恵器・歴史時代土師器を含む黄褐色の海成砂層が検出された。出土遺物は小片のため図化しえないが、従来、本構内で検出された遺物包含層は黒褐色砂礫層であるとされており、<sup>1)</sup>少なくとも2層の遺物包含層が存在することが明らかとなった。

なお調査期間中に、本構内の北に面する海岸で多量の遺物を採集したので、紹介する。

採集遺物 (Fig. 56, PL. 16・17)

土師器・土師質土器・須恵器・瓦質土器・磁器・陶器・土錘および瓦がある。

1～4は土師器。1・2は甕で、1の口縁部は緩やかに外反し、胴部内面はヘラケズリの可能性。2の口縁部は短く「く」の字に外反し、頸部外面を強く横ナデする。3は糸切り

底と思われる高台付きの埴。4は鉢で頸部外面に扁平な1条の突帯を貼付。

5・6は土師質土器。5は盤か。6は小皿で体部下半を強く横ナデする。

7～9は須恵器甕。7は口縁部が外彎気味に「く」の字に屈曲し、端部は肥厚する。外面のタタキは8が平行、9格子。

10は瓦質土器挿鉢で、口縁端部が上下両方に肥厚し、断面三角形を呈する。

11・12は磁器。11は小壺で口縁端部は口禿。12は埴で、見込みを除いて釉を掻き取る。13～17は陶器。13・14は挿鉢。

13は片口。14の内面の掻き上げは右から

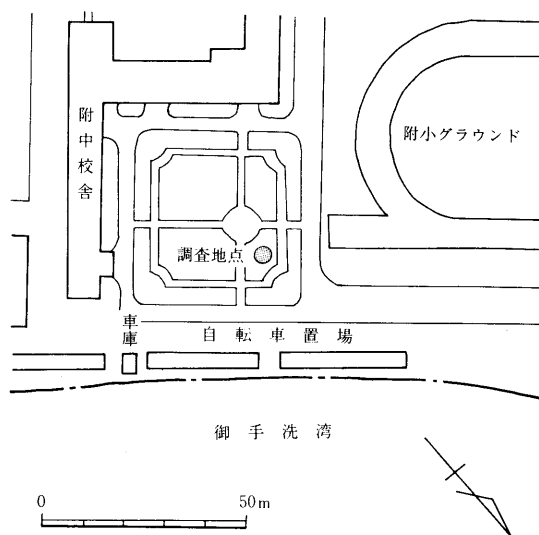


Fig. 56 調査区位置図

光構内の立会調査

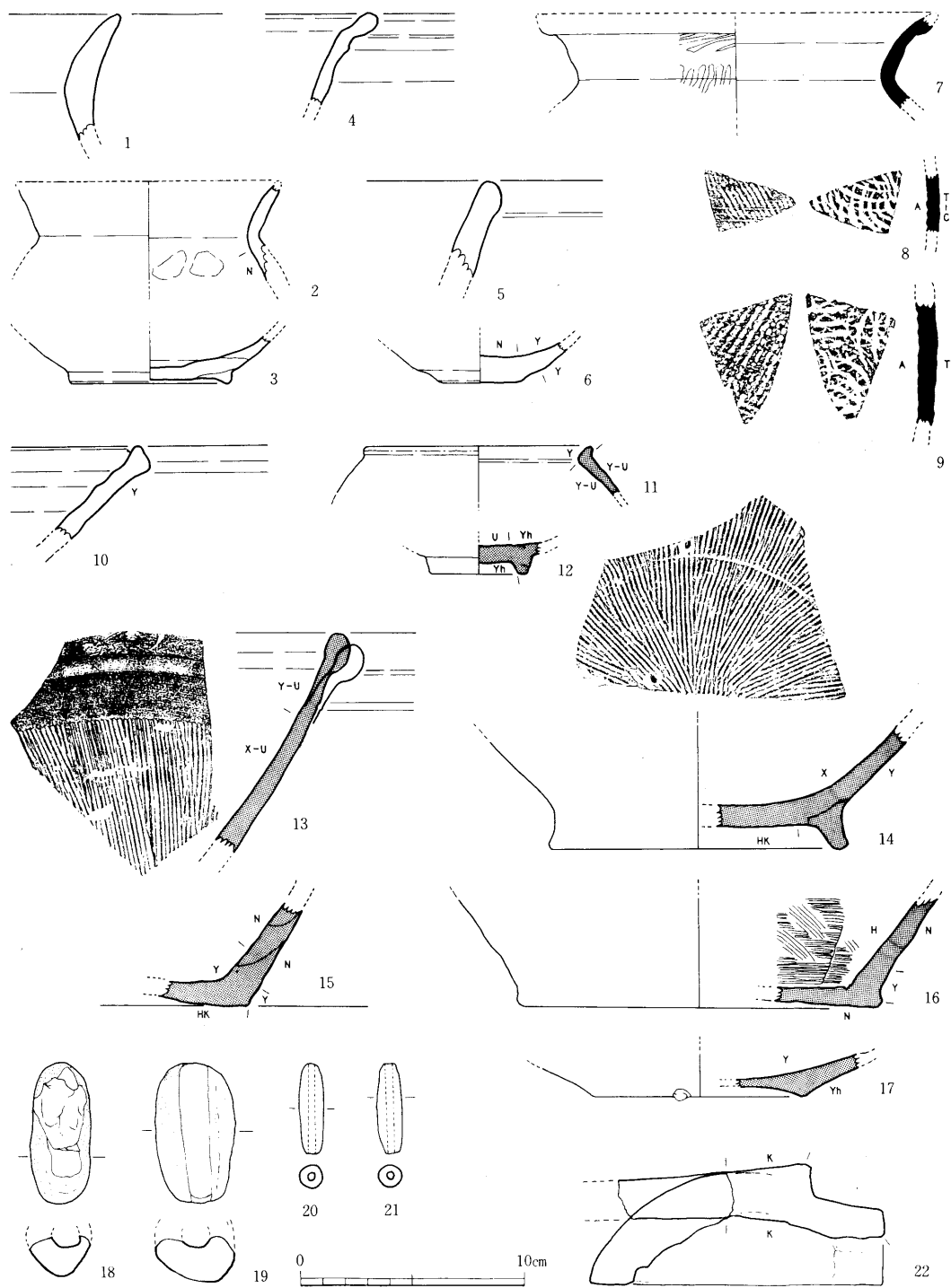


Fig. 57 御手洗湾採集遺物実測図

昭和61年度山口大学構内の立会調査

左へ順次行。15・16は甕の底部。17は鉢で、体部外面下半には円錐とちが付着。

18～21は土錘。有溝の大型品（18・19）と管状のもの（20・21）とがある。前者は指圧による整形痕が明瞭に残る。22は丸瓦で凸凹面ともヘラケズリを行なう。

上述した遺物は、古墳時代終末～江戸時代のものが混在するが、江戸時代に属するものが主体で、昭和58年度に検出した石垣状遺構の時期に近い。また時期の遡る遺物は、この石垣状遺構構築の際に、遺物包含層から遊離した可能性が高い。（河村）

[注]

- 1) 福本幸夫「御手洗遺跡」(『先原史時代の光市』、1966年)。
- 2) 山口大学埋蔵文化財資料館「教育学部附属光小学校自転車置場設置に伴う試掘調査」(『山口大学構内遺跡調査研究年報Ⅲ』、1985年)。

Tab. 6 御手洗湾採集遺物観察表

法量 ( ) は現存値

No	器種	口径 *底径 (cm)	器高 (現存高) (cm)	色調	胎土	焼成	備考	
1	土師器 甕	—	(5.6)	外—にぶい赤褐色(5YR5/4) 内—にぶい黄褐色(10YR6/4)	粗い	1.5mm以下の長石、石英、赤紫色砂、金雲母を含む	良好	
2	土師器 甕	11.8	(4.2)	器表—橙色(7.5YR6/6) 器肉—黒色	良好	2mm以下の赤紫色砂、長石、石英若干含む	良好	
3	土師器 壺	*6.8	(2.1)	器表—(外—にぶい橙色(10YR7/3) 内—にぶい黄褐色(10YR5/4)) 器肉—暗灰色(N 3/0)	良好	2mm以下の長石、石英他かなり含む	良好	
4	土師器 鉢	—	(4.0)	器表—にぶい褐色(7.5YR5/3) 器肉—黒色	粗い	4mm以下の長石、石英かなり含む	良好	
5	土師質土器 盤	—	(4.3)	にぶい橙色(5YR7/4)	粗い	3mm以下の長石、石英かなり含む	やや軟	
6	土師質土器 小皿	*3.0	(1.8)	赤褐色(10R6/8)	良好	1mm以下の長石、若干含む	良好	
7	須恵器 甕	17.6	(4.1)	灰白色(7.5Y7/1)	良好	3mm以下の長石やや含む	良好	
8	須恵器 甕	—	(2.6)	外面—明オリープ灰色(5GY7/1) 内面—灰白色(5Y7/1) 器肉—にぶい黄褐色(10YR7/3)	良好	1.5cm以下の長石を含む	やや軟	
9	須恵器 甕	—	(5.5)	器表—灰色(N 4/0) 器肉—灰黄色(2.5Y7/2)	良好	2mm以下の長石、石英含む	良好	
10	瓦質土器 播鉢	—	(4.1)	口縁端部—暗青灰色(5PB3/1) 他—灰白色(2.5GY8/1)	良好	2mm以下の砂粒やや含む	良好	
11	磁器 小壺	10.0	(2.1)	素地—淡黄色(2.5Y8/4) 釉—浅黄褐色(10YR8/4)	細砂かなり含む		軟質 口禿	
12	磁器 壺	*4.3	(1.4)	素地—淡黄色(2.5Y8/3) 釉—オリープ黄色(7.5Y6/3)	良好	黒色微砂多く含む	良好	
13	陶器 播鉢	—	(9.8)	素地—橙色(2.5YR6/8) 釉—暗赤褐色(10R3/2)	良好	微細砂粒若干含む	良好 注口部分	
14	陶器 播鉢	*13.0	(5.5)	器表—にぶい赤褐色(2.5YR4/3) 器肉—橙色(2.5YR6/6)	良好	3mm以下の石英、長石若干含む	良好	
15	陶器 甕	—	(4.7)	赤褐色(17R5/4)	良好	3mm以下の赤色砂他若干含む	良好	
16	陶器 甕	*15.6	(4.8)	素地—にぶい赤褐色(2.5YR4/3) 釉—オリープ黒色(5Y3/1)	粗い	3mm以下の長石他かなり含む	良好	
17	陶器 鉢	*9.2	(1.9)	器表—浅黄色(2.5Y7/3) 器肉—灰白色(5Y7/2) 釉—灰オリープ色(7.5Y5/3)	精良	細砂やや含む	良好	
No	器種	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	色調	胎土	焼成	備考
18	土 錘	(2.6)	6.3	(26.9)	にぶい赤褐色(2.5YR4/3)	粗い	2mm以下の石英、1mm程度の黒雲母・金雲母を多量に含む	良好 カキ付着
19	土 錘	(3.5)	6.3	(41.2)	にぶい赤褐色(5YR5/4)	粗い	3mm以下の石英、1mm程度の黒雲母・金雲母を多量に含む	良好
20	土 錘	1.1	4.0	3.9	にぶい橙色(5YR6/4)	良好	1mm程度の石英若干、1mm以下の黒雲母・金雲母を多量含む	良好
21	土 錘	1.1	4.0	4.7	灰褐色(5YR5/2)	良好	1mm以下の黒雲母・金雲母を多量に含む	良好
22	丸 瓦	—	(11.9)	—	灰白色(7.5Y7/1)	良好	2mm以下の石英・長石等若干含む	良好